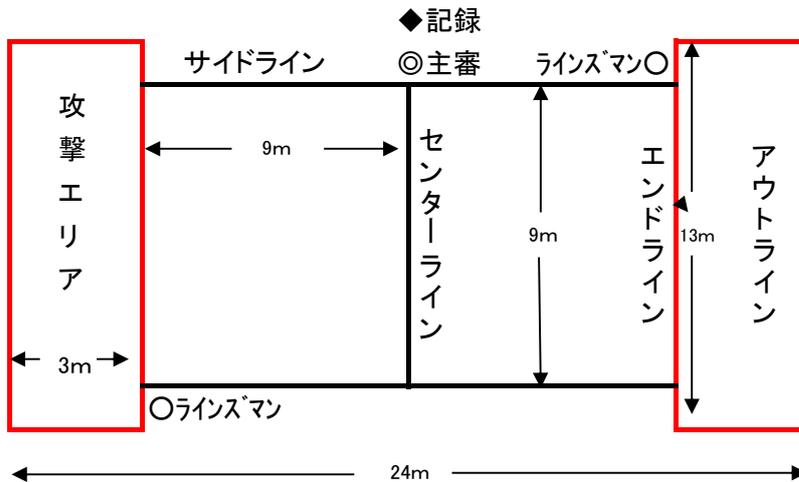


久留米市スポーツ少年団ドッジボール・ドッジビー大会 ルール

※ドッジボール・ドッジビー共に同様のルールで行います。

【1】コート バレーボールコート(6人制)



【2】試合球 ドッジボール3号/ドッジビー(大)

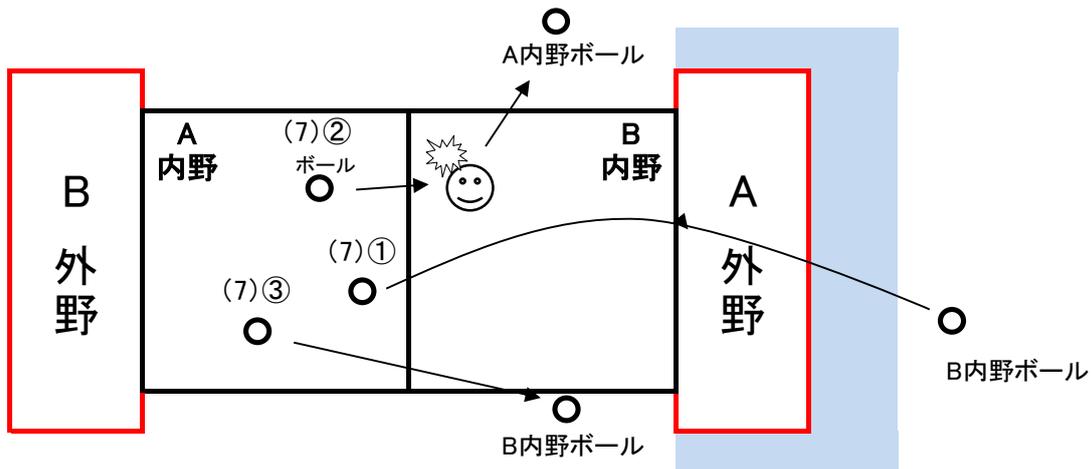
【3】人員・構成

- (1) 1チーム3～9名編成。同時にプレーできるのは6名(そのうち、中学生は2名)まで。
- (2) 試合開始時の外野の人数は1名以上とする。
- (3) 選手の交代はコートチェンジ時に行うものとし、試合中は認めない。
但し、負傷等により主審が認めた場合はその限りではない。

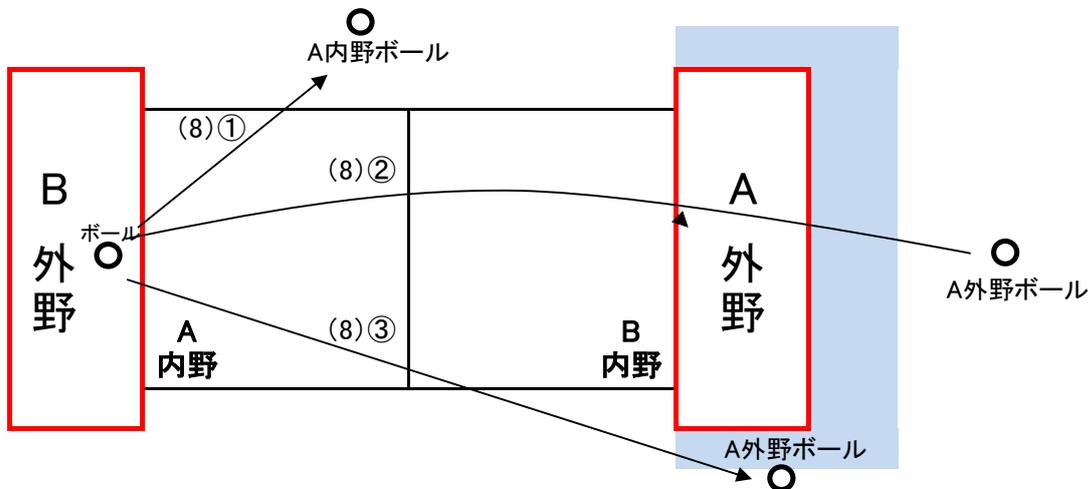
【4】競技時間 コートチェンジ(1分)をはさんで前・後4分とする。

【5】試合方法

- (1) ジャンケンによりコート又はボールを選択し、審判の笛により開始する。後半は交代する。
- (2) 内野の者で相手から投げられたボールがノーバウンドで当たった時、又は受け損じた者は失格となり外野に移動する。
- (3) 外野にいた者が相手内野のプレイヤーにボールを当てた時は内野に入ることができる。
但し、すぐに入らない場合はその時の内野権を失う。
- (4) ボールが自チーム側の外野ラインを越えた場合には相手内野ボールとなる。
- (5) 相手コートのボールをラインを踏まずに取ることを認める。
- (6) 投げる際、ラインを踏んだ場合は相手のボールとなる。ボールを投げた後も踏んではいけない。
(ラインクロス)



- (7) A内野 → B内野へ投げた場合
- ① A外野後方又は横(サイド)へ出た場合はBの内野ボール。
 - ② Bの選手に触れて、サイドへボールが出た場合はAの内野ボール。
 - ③ Bの選手に触れずにサイドへ出た場合はBの内野ボール。



- (8) B外野 → A内野へ投げた場合
- ① A内野に当たらずサイドへ出た場合はAの内野ボール。
 - ② 誰も触れず、A外野後方へ出た場合はA外野ボール。
 - ③ A内野に当たらず、A外野サイドへ出た場合はA外野ボール。

(9) ボールが2人以上のプレイヤーに当たった場合、2人目以降のプレイヤーが受けた時はセーフ。落とした時は最初のプレイヤーのみが失格となる。

(10) 顔面にボールが当たってもセーフとし、試合を続行する。

(11) 失格になった内野手とそのボールを味方に有利になるよう、故意に再びボールに触れた時は相手ボールとする。

(12) ボールを保持した者が持ち続ける、又は内野同士・外野同士でボールを回し続ける場合(10秒程度)は、審判の判断により、相手ボールとする。(ストーリング)

(13) 試合開始時、外野にいる者は内野権を持たない。

(14) 終了の吹笛があった時点で試合は終了する。

(15) その他審判が反則と認めた時は、プレイヤー失格又は相手ボールとする。

(16) 競技場内(アウトライン含む)には選手及び審判以外は立ち入ることはできない。

【6】勝敗

- (1) 前後半を通じて内野に残った人数の多いチームの勝ちとする。
- (2) 同点の場合は主審とジャンケンをし勝者の多いチームを勝ちとする。
ジャンケンをする選手の人数は最少人数に合わせる。

【7】リーグ戦での順位決定方法

次の順序により順位を決定する。

- (1) 勝数
- (2) 得失点率
- (3) 総得点
- (4) 当該チームが直接対決した結果
- (5) ジャンケン(5名)

【8】審判

- (1) 審判(主審1名・ラインズマン2名・記録1名)は、参加チームの中から選出し協力して行う。
- (2) 選手及び観戦者は、主審の指示に従うこと。
- (3) ラインズマンは主審を補助し、プレイヤーがアウトか否か、ラインを踏み超えたかどうか等の判断をする。
- (4) 審判は次の場合に笛を吹く。
 - 試合開始及び試合終了
 - プレイヤーの失格
 - ストーリーング ※【5】の(12)参照
 - ラインクロス ※【5】の(6)参照
 - ボールがアウトライン外に出た時
 - その他審判が必要と認めた時